

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | |
|------------------|---|--|--------|------------------------|-------|---------------------|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 アンフォーレ課 No.1 |
| 施策 | (1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開 | | | | | |
| 取組 | 男女共同参画に関する図書・DVD等の収集、貸出 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男女共同参画に関する図書や関連雑誌、DVDなどを収集・整備し、貸出を行うことで、市民・団体等の自主的な学習を支援する。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 市民が、女性関連資料を目にすることの機会が増え、男女共同参画の認知が深まる。 | | | | | |
| 指標 | 女性関連資料の蔵書冊数 | | 指標の出典 | 図書管理システム「ELCIELO」からの抽出 | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <H28年度> | | | | | |
| 実績 | 2,150冊 | 2,364冊 | 2,464冊 | | | → 2,650冊 |
| 元年度 | 活動計画 | 男女共同参画に関する図書等の情報収集を行い、蔵書の充実と利用の促進に努める。 | | | | |
| | 活動実績 | 女性関連図書の充実に努めた。 H2.3.31現在の女性関連図書数=2,464冊 (H30.3 2,364冊) (内訳) • 367 (家庭問題全般) =322冊 • 367.0 (女性問題全集等) =67冊 • 367.1 (女性運動・女性論等) =89冊 • 367.2 (女性史等) =789冊 • 367.3 (家族関係等) =762冊 • 367.4 (婚姻・離婚問題等) =266冊 • A367 (女性関連郷土資料) =164冊 • AV資料=5点 上記、女性関連図書の利用に努めた。 男女共同参画の総合情報誌『共同参画』(内閣府・編集／発行、月刊、寄贈)や男性育児雑誌『FQJAPAN』(季刊)を購入し利用に供している。 平成31年度に141冊の図書の購入等を行った。 | | | | |
| | 課題等 | 男女共同参画に関する図書等の情報収集を行い、計画的に蔵書冊数を増やすことができた。 また、H31年度は、141冊の図書を購入し、目標値である2,650冊に向けて順調に推移している。 今後も計画的に蔵書冊数を増やしていきたい。 | | | | |
| 次年度の活動計画 | 引き続き、男女共同参画に関する図書等の情報収集を行い、蔵書の充実と利用の促進に努める。 | | | | | |

B

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | |
|------------------|--|-------|-------|-------|-------|--------------------|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 市民協働課 N.o.2 |
| 施策 | (1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開 | | | | | |
| 取組 | 男女共同参画に関する情報発信の充実 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男女共同参画に関する情報誌の発行、広報紙・ホームページへ記事を掲載する。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | さんかく21・安城と協働して情報誌を発行することで、市民が広く男女共同参画の情報を入手できる。 | | | | | |
| 指標 | 情報誌の年間発行回数 | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 <平成28年度> | | | | | | 2回 |
| 実績 | 2回 | 2回 | | | | |
| 活動計画 | より市民に興味を持ってもらう内容となるようテーマを検討し、年2回情報誌をさんかく21・安城と協働して発行する。 | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 活動実績 | 2回（10月、2月）情報誌を発行。コマーシャルやアニメなどからみる男性像・女性像の変化についてや、家事や育児に関する若い男性の座談会を開催した記事を掲載。公共施設にて配布するだけではなく、イベント開催時にも配布。市公式ウェブサイト、広報にも掲載し、広く市民へ啓発した。 | | | | | |
| 課題等 | 今後も様々な世代等に啓発が必要である。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 男女共同参画に関するさまざまな視点の情報誌を、年2回、さんかく21・安城と協働して発行する。 | | | | | |

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|-----------------------------------|--------------------|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 市民協働課 N.o.3 |
| 施策 | (1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開 | | | | | |
| 取組 | 男女共同参画イベントの開催 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 市民活動団体と市が協働して男女共同参画に関するイベント等を開催する。（週間・月間イベント） | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | さんかく21・安城と協働で開催することで、より市民の視点に沿ったイベント内容となり、多くの市民が男女共同参画の重要性・必要性を認識する。 | | | | | |
| 指標 | 男女共同参画関連のイベント参加者数 | | | 指標の出典 | 週間イベント・月間イベント・さんかくカレッジ（セミナー）の参加者数 | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <平成28年度> | | | | | 530人 |
| 実績 | 485人 361人（月間イベントの会場がアンフォーレのため減） | 425人 | | | | |
| 活動計画 | より市民に興味を持ってもらう内容となるようテーマを検討し、週間イベント・月間イベント・セミナー2回を行う。 | | | | | |
| 元年度 | 活動実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・週間イベント：「どうなってるのかな 世界の子育て・子育ち事情」／市民交流センター／参加者 77人 ・月間イベント：トーク及びシネマ「ドリーム」上映／文化センター／参加者 236人 ・セミナー（第1回）：「子どもに耳をかたむけて～子ども権利条約から学ぶこと～」／交流センター／参加者 63人 ・セミナー（第2回）：「子どもの個性もみとめよう～男女だけではない、性の多様性」／交流センター／参加者 49人 | | | | |
| | 課題等 | 10月の月間イベントは、様々なイベントと重なるため、参加者の確保が困難である。 | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 市民の興味を引く内容で、広く周知できるよう検討する。 | | | | |

※10月開催の月間イベントが、雨天により延期された町内会の行事などと重なってしまい、参加者が少なかった。

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | |
|------------------|---|-------------------------------|-------|-------|-------|--------------------|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 市民協働課 N.o.4 |
| 施策 | (2) 男女共同参画に関する学習機会の提供 | | | | | |
| 取組 | 出前講座の実施 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 市民等の要請に応じ、地域、職場、学校などにおいて男女共同参画に関する出前講座等を実施する。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 参加者が講座を通じ、男女共同参画についての理解を深める。 | | | | | |
| 指標 | 出前講座の実施回数 | | 指標の出典 | - | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <平成28年度> 0回 | | | | | 2回 → |
| 実績 | 1回 | 1回 | | | | |
| 元年度 | 活動計画 | 継続して、市民団体への出前講座を実施する。 | | | | |
| | 活動実績 | 三ツ川老人クラブで「まちかど講座」を実施。 | | | | |
| | 課題等 | 依頼者が増えるように、興味を引く内容を検討する必要がある。 | | | | |
| 次年度の活動計画 | 市民や市民団体への出前講座を実施する。 | | | | | |

B

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|-----------------|-------|-------------|---|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 | 市民協働課 N o.5 | |
| 施策 | (2) 男女共同参画に関する学習機会の提供 | | | | | | | |
| 取組 | 人材育成のための講座等の開催 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 方針・施策決定の場に参画できる女性人材を計画的かつ継続的に育成する。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 受講生が、エンパワーメント講座を通じて、市政へ関心を持ち、様々な分野で意見を提言する場に参画する。 | | | | | | | |
| 指標 | 人材育成講座の受講者数（累計） | | | 指標の出典 | エンパワーメント講座の受講者数 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <平成28年度> 327人 | | | | | | 460人 | |
| 実績 | | 351人 | 366人 | | | | | |
| 活動計画 | 様々な年代の方に参加いただけるよう広報紙・市公式ウェブサイト・チラシ・フェイスブック等で参加者を募る。子育て中のの方にも参加しやすくするため託児も実施する。 | | | | | | 進捗状況 | |
| 元年度 | 活動実績 | ①誰もが自分らしくいられるように／愛知淑徳大学非常勤講師 中島氏 ②私たちの生活の中の法律／弁護士 下野谷氏 ③これからどうなる安城市／市職員 ④メディアの情報を理解する／東海学園大学教授 北出氏 ⑤言いにくいことをうまく伝える話し方 ⑥プレゼンでのコミュニケーションスキル ⑦成果発表会 ／人材育成コンサルタント 松田氏 全7回実施。成果発表会では、4グループがそれぞれ調べたテーマを発表した。 | | | | | | B |
| | 課題等 | 修了生には年配の方が多いので、若い方にも興味を引く内容で参加を促す必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 子育て世代の参加を増やすため、若い方と協働して企画運営をする。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | |
|------------------|---|-------|-------|-------|-------------------------|--------------------|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 市民協働課 N o.6 |
| 施策 | (2) 男女共同参画に関する学習機会の提供 | | | | | |
| 取組 | 市役所職員への男女共同参画研修の実施 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男女共同参画への意識を高めるため、市職員の研修を実施する。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 市職員が自らワーク・ライフ・バランスを実践すると、男女共同参画の視点を踏まえた業務遂行をするようになる。 | | | | | |
| 指標 | 市職員の男女共同参画研修参加者数 | | | 指標の出典 | DV・LGBT職員研修、新入庁職員研修受講者数 | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <平成28年度> | | | | | 85人 |
| 実績 | 43人 | | 169人 | 152人 | | |
| 活動計画 | 職員研修を実施する | | | | | |
| 元年度 | ①DV職員研修参加者（55名）「DVの基礎知識」／加藤 佐紀子氏（ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA） ②LGBT職員研修参加者（97名）「LGBTの基礎知識及びライフヒストリーなど」／特定非営利活動法人ASTA | | | | | |
| 課題等 | 今年度は、LGBT職員研修を市職員に加えて教職員にも参加してもらえるようにした。さらに多くの教職員に参加してもらえるように、研修開催日を検討する必要がある。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | DV及びLGBTの理解をすすめるため職員研修を実施する。さらに新入庁職員へも男女共同参画の理念が浸透するように研修を実施する。 | | | | | |

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 保育課 N.o.7 |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | | |
| 取組 | 保育者への男女共同参画研修の実施 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 園長、所長を対象に、男女共同参画に関する研修を実施し、男女平等への理解を深める。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 保育者が男女共同参画社会基本法の基本理念を理解することができる。 | | | | | | |
| 指標 | 保育者研修会の参加人数 | | 指標の出典 | | - | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 32人 |
| 実績 | 32人 | 27人 | 27人 | | | | |
| 活動計画 | 園長への研修を継続して行う。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 園長を対象に、研修を行うことにより、男女平等への理解を深めることができた。 | | | | | | D |
| 課題等 | 各園の保育士の意識が高まるように、今後も啓発していくことが必要である。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 園長への研修を継続して行う。 なお、令和元年度は市公立園（27園）園長のみが参加する園長会において、男女共同参画に関する研修を実施していたが、令和2年度以降は、プラン策定当初のサルビア学園の所長等を含めた形で市が所管する保育者がいる全施設の長を集めた研修会を開催し、保育者全員に男女平等への理解を深められるようにする。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|-------|-------|---------------|-------|-------|------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 学校教育課 No.8 |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | | |
| 取組 | 学校等における男女共同参画に関する教育の実施 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 学校等において、男女平等意識を浸透させるための学習を推進する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 児童・生徒が、男女の違いを知るとともに、お互いを理解し合おうと努めていく気持ちを育てる。 | | | | | | |
| 指標 | 「道徳」「学活」「総合」「保健」「人権教育」の授業で男女共同参画の学習を行った学級数 | 指標の出典 | | 小中学校の担任の報告による | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | すべての学級 |
| 実績 | 一 | 421学級 | 451学級 | | | | |
| 活動計画 | ①「道徳」や「学活」、「総合」等を通して、男女間の協力や助け合いの必要性について考える場を設け、学校行事や学年行事に活かす。 ②「保健」の授業を通して、男女間の違いや特徴について考える場を設け、男女間の特性を尊重して学校生活を送ることができるようとする。 ③「人権教育」の授業を通して、人それぞれの個性について考える場を設け、個性を尊重して学校生活を送ることができるようとする。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 活動実績 | 全小中学校の約75%の学級において、授業で男女共同参画の学習を行った。 | | | | | | B |
| 課題等 | 小学校低学年の児童にわかりやすく男女共同参画を教える方法。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | ①「道徳」や「学活」、「総合」等を通して、男女間の協力や助け合いの必要性について考える場を設け、学校行事や学年行事に活かす。 ②「保健」の授業を通して、男女間の違いや特徴について考える場を設け、男女間の特性を尊重して学校生活を送ることができるようとする。 ③「人権教育」の授業を通して、人それぞれの個性について考える場を設け、個性を尊重して学校生活を送ることができるようとする。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | |
|------------------|--|--------|-------|-------|-------|--------------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 市民協働課 N o.9 |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | |
| 取組 | 生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 生徒が男女共同参画を含めたDVについて認識するようになる。 | | | | | |
| 指標 | リーフレットの配布枚数 | | | 指標の出典 | - | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <平成28年度> 1,951枚 | | | | | |
| 実績 | 3,808枚 | 5,148枚 | | | | |
| 活動計画 | デートDV防止のリーフレットを作成し、市内全中学3年生に配布し啓発する | | | | | |
| 元年度 | ①「みんなでつくる男女共同参画」のリーフレットに、デートDV及びLGBTの記事を掲載し、市内全中学3年生（1,832人）に配布した。 ②「知っていますかLGBT」のリーフレットを作成し、市内全幼稚園・保育園の年少児の保護者（1,749人）及び3歳児保護者（1,567人）に配布。 | | | | | |
| 活動実績 | | | | | | |
| 課題等 | どのような内容を掲載するとよいのか。効果が分かりにくい。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | リーフレットを作成し、継続して情報提供を実施する。 | | | | | |

※年少児保護者への配布を幼稚園・保育園に依頼していたが、健康推進課から3歳児保護者に送付している予防接種通知書に同封する方法に切り替えた。

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|---|------------------------------------|-------|-------|-------|-------|------------|------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 学校教育課 No.9 | |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | | | |
| 取組 | 生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 生徒が、交際をしている異性同士が平等であるという観点に立ち、交際相手の人権を尊重した考え方をもてるようになる。 | | | | | | | |
| 指標 | — | | | 指標の出典 | — | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <H28年度> | — | — | — | — | — | | |
| 実績 | | — | — | — | — | — | | |
| 元年度 | 活動計画 | データDVに関する情報収集する | | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | インターネット、書籍などを利用してデータDVに関する情報を収集した。 | | | | | | C |
| | 課題等 | 有用な情報を得られる書籍の選定。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | データDVに関する情報収集する。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|---|-------|-------|---------|-------|-------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 学校教育課 No.10 |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | | |
| 取組 | 教育現場におけるLGBTへの対応 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 教育現場において性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発や研修機会の提供を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 教職員が、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めることができる。 | | | | | | |
| 指標 | LGBT等に関する啓発の実施率 | | | 指標の出典 | 各校からの報告 | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 85%以上実施 |
| 実績 | | 65% | 70% | | | | |
| 活動計画 | 教職員に対して、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を進めて行う。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 活動実績 | 県やNPOなどが主催する性的少数者（LGBT等）に対する研修会の情報提供を行った。 各校の校長を通じて、市内教職員約1,000人のうち休職中や時短の職員を除く約700人に情報提供した。 | | | | | |
| | 課題等 | 今後も教員以外で学校で働く職員にも啓発が必要。 | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 教職員に対して、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を引き続き行う。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 学校教育課 No.11 |
| 施策 | (2) 思いやり、認め合う意識の醸成 | | | | | | |
| 取組 | 思春期保健の推進 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 教職員が、男女の成長期における違いを正しく理解するとともに、違いを認めつつ互いに理解し合おうとする意識の向上を図る。 | | | | | | |
| 指標 | — | | 指標の出典 | | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | — |
| 実績 | | — | — | | | | |
| 元年度 | 活動計画 | 保健の授業において、養護教諭を活用し、男女の成長の違いに関する性の授業の充実を図る。 | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | 保健の授業において、養護教諭を活用し、男女の成長の違いに関する性の授業を行った。 | | | | | B |
| | 課題等 | すべての小中学校では行われていない。 | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 保健の授業において、養護教諭を活用し、男女の成長の違いに関する性の授業を充実する。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|--|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 健康推進課 No.11 |
| 施策 | (2) 思いやり、認め合う意識の醸成 | | | | | | |
| 取組 | 思春期保健の推進 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 子どもたちが、受け継がれた命、大切に育てられてきた自分を感じることにより、命の大切さを知ること、また人生設計が望まない変更とならないように、「性」についての正しい知識を知る。 | | | | | | |
| 指標 | 講師派遣及び物品貸し出し件数 | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> 47件 | | | | | | → 50件 |
| 実績 | | 41件 | 56件 | | | | |
| 活動計画 | 講師派遣等を継続し、学びの機会を提供していく。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 活動実績 | 小中学校を中心に講師派遣等を32回、物品貸出しを24回行った。 また、思春期保健に関する啓発をするため、長期休暇前に小学5、6年生及び中学生を対象にチラシを配布した。 | | | | | |
| | 課題等 | 物品の貸出しは高校も含め学校へ貸し出す機会が増えたが、講師派遣等による思春期保健に関する健康教育の回数は横ばいであったため、啓発の機会を増やしていく必要がある。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 思春期保健に関する啓発の機会を増やせるよう、学校教育課や各中学校の養護教諭等と協力していく。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | |
|------------------|--|--|--------|-------|-------|--------------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 子育て支援課 No12 |
| 施策 | (2) 思いやり、認め合う意識の醸成 | | | | | |
| 取組 | 赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の推進 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 命の大切さを学ぶことで、人権意識を認識し、思いやりの意識を醸成する機会として、小中学生を対象とした赤ちゃん講座を開催し、小中学生と乳幼児がふれあう機会を設ける。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 小中学生が、赤ちゃんとふれあい、関わることによって様々なことを感じたり考えたりしながら思いやりや命を大切にするようになる。 | | | | | |
| 指標 | 児童センターの赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の参加人数 | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <H28年度> | | | | | |
| 実績 | 840人 | 735人 | 1,438人 | | | 840人 |
| 元年度 | 活動計画 | 児童センター9カ所（ふれあい体験、赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）で実施する。 | | | | |
| | 活動実績 | 児童センター9カ所（ふれあい体験、赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）で実施。 | | | | |
| | 課題等 | 3歳児未満の保育園・認定こども園への入園が増加しており、乳幼児を対象とした講座等への参加が伸び悩んでいる。 また児童・生徒の参加希望も少ない。 令和元年度、実施期間を長くしたことで、参加人数が増えたので、今後も実施期間や内容の検討・計画をしていく。 | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 児童センター9カ所（ふれあい体験、赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）で実施する。 | | | | |

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|-------|-------|------------------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 市民協働課 No.13 |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | | |
| 取組 | 各種審議会等における女性委員の増加に向けた取組 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 各種審議会等における女性委員の割合を増やし、方針・政策決定の場への女性の参画を進める。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 女性が審議会等に参加することで、方針・政策決定の場に女性の意見が述べられるようになる。 | | | | | | |
| 指標 | ① 法律・条例により設置される審議会等の女性委員の割合 | | 指標の出典 | 安城市における審議会等の状況調査 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <平成28年度> 27.4% | | | | | | 30.4% |
| 実績 | 29.9% | 30.9% | | | | | |
| 指標 | ② すべての審議会等における女性委員の割合 | | 指標の出典 | 安城市における審議会等の状況調査 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <平成28年度> 28.2% | | | | | | 33% |
| 実績 | 30.9% | 31.7% | | | | | |
| 活動計画 | 年4回審議会等の女性委員調査を実施。次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 年3回審議会等の女性委員調査を実施。 次年度改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課（10課）へヒアリングを実施し、女性委員の登用促進をした。 ①法律・条例により設置される審議会等（女性委員の割合：女性委員186名／委員総数601名） ②すべての審議会等（女性委員の割合：女性委員374名／委員総数1,178名） | | | | | | ① A ② B |
| 課題等 | 女性率が改善した審議会等でも、あて臍や公募による市民が男性しかいないなどの理由により、悪化してしまうことがある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 年4回審議会等の女性委員調査を実施する。次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|---|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 市民協働課 No.14 |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | | |
| 取組 | 女性の人材リスト等の整備 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | エンパワーメント講座修了生や地域で活躍する人を人材リストへ登載し、審議会等への登用をPRする。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 人材育成講座修了生等が人材リストへ登録することで、様々な審議会等に参加することができるようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 市民参加パートナーバンクの登録者数（累計） | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <平成28年度> 172人 | | | | | | → 202人 |
| 実績 | 184人 | 185人 | | | | | |
| 活動計画 | エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登載依頼をする | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 活動実績 | エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジの修了生へ人材リストへの登載依頼をした。 | | | | | |
| | 課題等 | 講座修了生のうちパートナーバンクへ登録していただける人が少ない。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登載依頼をする。 | | | | | |

B

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|-------|-------|-------------------------------|-------|-------|------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 市民協働課 N.15 |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | | |
| 取組 | 女性の人材育成のための研修・講座への派遣 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 県などが開催する研修会等へ参加した市民が、女性リーダーに必要な知識・見識を得る。 | | | | | | |
| 指標 | 研修会等派遣者数（累計） | | 指標の出典 | 県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等への市民派遣数 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <平成28年度> | | | | | | 43人 |
| 実績 | 25人 | 29人 | 29人 | | | | |
| 活動計画 | 県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等へ市民派遣する | | | | | 進捗状況 | |
| 元年度 | 日本女性会議へ公募市民2名派遣予定であったが、災害により中止。 | | | | | C | |
| 課題等 | 県男女共同参画人材育成講座を呼び掛けたが、希望者がらず派遣できなかった。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等へ市民派遣する。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|---|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 生涯学習課 No.15 |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | | |
| 取組 | 女性の人材育成のための研修・講座への派遣 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 女性が、エンパワーメントに対する意識、知識を高めることで、性別に関わりなくその個性と能力を発揮することができるようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 女性が充実した生活を送るための講座実施数（累計） | | | 指標の出典 | - | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → 6人 |
| 実績 | | 4人 | 12人 | | | | |
| 活動計画 | 女性がエンパワーメントに対する意識、知識を高めることができる研修会や講座へ市民を派遣する。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 活動実績 | 県PTA連絡協議会や家庭教育推進協議会の研修会等に女性リーダーに出席していただいた。 | | | | | |
| | 課題等 | 女性のみを対象にした研修会は少ないので、参加者を募る際に女性のみに声をかけることはできず、定員などにより女性リーダーの出席が難しい場合がある。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 次年度も女性がエンパワーメントに対する意識、知識を高めることができる研修会や講座へ市民を派遣する。 | | | | | |

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | |
|------------------|---|-------|-------|-------|-------|---------------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 市民協働課 N o.16 |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | |
| 取組 | 誰もが学べる環境の整備 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 講座等の開催において託児の実施を行うなど、誰もが学びの場へ参加しやすい環境を整備する。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 育児中の女性等が、安心して講座等に参加できる。 | | | | | |
| 指標 | 託児付講座数 | | 指標の出典 | - | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <平成28年度> 5講座 | | | | | |
| 実績 | 5講座 | 5講座 | | | | 7講座 |
| 活動計画 | 男女共同参画週間イベント、月間イベント、エンパワーメント講座等で託児を実施する | | | | | |
| 元年度 | ①男女共同参画週間イベント ②新しい私発見講座 ③男女共同参画月間イベント ④男女共同参画セミナー2回 | | | | | |
| 課題等 | 託児者の確保が難しく、託児希望者が多いと、託児を利用できない人がでてきてしまう。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 男女共同参画週間イベント、月間イベント、エンパワーメント講座等で託児を実施する。 | | | | | |

C

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|--|-------|-------|-------|-------|------------|
| 34 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 生涯学習課 N.16 |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | | |
| 取組 | 誰もが学べる環境の整備 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 講座等の開催において託児の実施を行うなど、女性が学びの場へ参加しやすい環境を整備する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 女性が学びの場へ参加しやすい環境を整えることにより、ひとつくり、地域づくり等における知識・技能を向上することができる。 | | | | | | |
| 目標 | 託児付講座数 | | 指標の出典 | | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 30講座 |
| 実績 | 30講座 | 38講座 | | | | | |
| 活動計画 | 託児が必要な月齢の子どもを育てながらも自分らしく生きがいをもって生活できるような講座を開講していく。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 活動実績 | 公民館主催講座、乳幼児・家庭教育学級等で託児付き講座を実施した。開講した際の託児の希望者は非常に多く、子どもを育てながらも学びたいといった女性が増えていることが伺える。 | | | | | |
| | 課題等 | 託児ニーズは年々増加しているため、託児者不足にならないよう新規託児者の育成や謝礼の予算措置が必要。また、受講生が安心して子供を預けることができるよう、社会情勢の変化を反映した託児現場の対応が必要。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 託児が必要な月齢の子どもを育てながらも自分らしく生きがいをもって生活できるような講座を今後も開講していく。 | | | | | |

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|----------------------|--|---|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 職場の 施策 | 3 男女共同参画社会の実践 (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | 担当課 | 商工課 No.17 |
| 取組 | 職場での女性活躍に向けた啓発・情報提供 | | | | | | |
| 具体的な 取組内容 | 女性管理職の拡大や女性の能力の活用について、県・関係機関が開催する講座などの情報収集に努め、商工会議所会報への掲載を依頼するなど、連携して企業・事業所などへの啓発を行い、女性の積極的な参加を促す。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの 達成目標 | 事業者が、女性の能力の活用に対する意識を高めることにより、女性が能力を発揮できる社会になる。 | | | | | | |
| 指標 | 県・関係機関が開催する講座等の啓発回数 | | 指標の出典 | | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → — |
| 実績 | 3回 | 6回 | 7回 | | | | |
| 活動計画 | 職場のメンタルヘルス対策に関するセミナーを開催（開催時期未定）し、長時間労働是正や、ハラスマントの防ぎ方の講演を通じて、女性が働きやすい環境づくりの構築につなげていく。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 活動実績 | 愛知県と共に開催した職場のメンタルヘルスセミナーに61名の参加があり、関心の高さを改めて感じた。「人材定着のためのメンタルヘルス対策」と題し、中小企業の課題を踏まえ、メンタルヘルスへの取組み、コスト面でのメリット等について聴講し、働きやすい環境づくりを企業に促した。 | | | | | |
| | 課題等 | 参加者数を限定しているが、関心の高いテーマであったため、会場の容量は限界であった。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 引き続き、愛知県と共に労働講座を開催し、働きやすい職場環境構築への支援を行う。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 No.18 |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | |
| 取組 | 女性の起業支援の実施 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | アンフォーレ内に設置する「安城ビジネスコンシェルジュ（通称「ABC」）」において、Anjo創業支援ファームやKEY PORT（キーポート）と連携し、起業セミナーを開催する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 多くの女性が起業することで、女性が活き活きと活躍できる社会が形成される。 | | | | | | |
| 指標 | 起業セミナー参加者数 | | 指標の出典 | | - | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 30人 |
| 実績 | - | | 18人 | 11人 | | | |
| 元年度 | 活動計画 | 起業やビジネスに役立つセミナーを開催するとともに、ABCメルマガや広報掲載等を通じてセミナー開催を広くPRする。 | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | 5日間にわたり、起業セミナーを開催し、受講生は起業に必要な知識、ノウハウを習得した。 | | | | | C |
| | 課題等 | 起業ニーズは景気動向にも左右されるものと考えられるので、経済事情をも加味したセミナー内容を検討する。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 引き続き、起業セミナーを実施し、起業者への支援を行う。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|-------|-------|-----|-----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | | 担当課 | 商工課 No.19 |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | | |
| 取組 | 女性の就労支援・再就職支援等の実施 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 出産・育児・介護などで退職した女性の再就職を支援するための情報の発信を行うとともに、セミナーを開催する。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 退職した女性が、再就職に関する情報を得て、働くようになる | | | | | | | |
| 指標 | 再就職支援セミナー受講者数 | | | 指標の出典 | - | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → | 20人 |
| 実績 | 14人 | 13人 | 24人 | | | | | |
| 活動計画 | 女性再就職をテーマにしたセミナーを実施する | | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 活動実績 | 「キャリアプランとマネーセミナー」「就職活動に役立つスキルと自己理解」をテーマに2日間にわたり、女性の再就職サポートセミナーを開催した。 | | | | | | |
| | 課題等 | 自身のライフプランを考えもらうことを念頭に、例年とセミナー内容を代えて実施した。参加者の満足度も高く、今後の方向性を考えるうえでの参考となった。一方、セミナーで動機付けされた参加者を実際に再就職に導く検討が必要と考えられる。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 参加者が興味を持ちやすいテーマを選定し、セミナーを実施することで再就職への動機づけを引き続き行う。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|---|-------|-------|-------|-------|------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 人事課 No.20 |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | |
| 取組 | 安城市における「特定事業主行動計画」の推進 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 市役所における職員の子育て支援、女性職員の活躍に向けた環境整備のため、「特定事業主行動計画」の目標達成に努める | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 女性職員が管理職員へ登用されることで、女性の個性と能力が十分に発揮され、活力のある組織になる。 | | | | | | |
| 指標 | ① 管理的地位にある職員（課長補佐級以上）に占める女性職員の割合（再掲） | | 指標の出典 | | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | → 17% | |
| 実績 | 11.6% | 11.3% | 9.9% | | | | |
| 指標 | ② 市男性職員の育児休業等の取得率 | | 指標の出典 | | — | | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | → 85% | |
| 実績 | 81.3% | 90.5% | 77.3% | | | | |
| 元年度 | 活動計画 | まずは管理職へ登用できる人材を育成するための方策について検討する。 | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | ①管理的地位にある職員（課長補佐級以上）に占める女性職員の割合（女性数14名／課長補佐級以上職員数142名） ②市男性職員の育児休業等の取得率（育児休業等取得者数17名／年度内に子どもが産まれた男性職員数22名） 令和2年4月の人事異動に向けて以下の方針を決めた。 【方針】将来管理職へ登用できる可能性のある意欲と能力のある人材を、管理職の一つ前の職位である係長級へ積極的に登用し、管理職となり身近な環境で業務にあたらせることで人材育成を図る。 | | | | | ① D ② D |
| | 課題等 | 女性管理職のロールモデルが少ないとことなどから、昇進意欲が低い傾向にある。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 女性管理職をよりイメージしやすいように、管理職の中でも最上位職である部長級への登用をより進め、ロールモデルを増やす。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|---|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 農務課 No.21 |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | |
| 取組 | 女性農業者への支援の充実 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 農業分野における男女共同参画、女性活躍が促進されるよう、希望する女性に対し、就農や農業経営等の支援を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 農業に従事する女性が、農業という職業分野においても活躍できるようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 家族経営協定の締結農家戸数 | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 69戸 |
| 実績 | 62戸 | 66戸 | 67戸 | | | | |
| 活動計画 | 愛知県農業改良普及課と連携し、女性農業者のつどいなどの実施を通じて家族経営協定の締結等に関する啓発活動を行う。 | | | | | 進捗状況 | |
| 元年度 | 活動実績 | 12月の農業委員会定例会後に家族経営協定調印式を開催し、新たに1家族が調印した。また、3月に女性農業者のつどいを開催する予定であったが、新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため延期を余儀なくされた。 | | | | | B |
| | 課題等 | なし。調印式の開催方法を実態に合うよう見直したこと（3月に年1回開催→毎月の農業委員会定例会開催日に、必要に応じて開催）により、課題は解消された。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 引き続き愛知県農業改良普及課と連携し、今年度実施できなかった女性農業者のつどいなどの実施を通じて、家族経営協定の締結等に関する啓発活動を行う。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|---|-------|-------|-------|--------------|-------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 契約検査課 | 契約検査課 No.22 |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | |
| 取組 | 子育て支援や女性の活躍推進を行う企業への優遇策の検討 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 子育て支援や女性の活躍、ワーク・ライフ・バランス推進等に積極的に取り組む企業を評価する入札、契約制度の拡充の検討をする。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 市が、評価競争入札の評価で既に取り入れている「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」以外に「あいち女性かがやきカンパニー」等の制度に登録認定された企業を入札、契約時の評価に加えることで、企業へ女性の活躍やワークライフバランスの啓発及び誘導できる。 | | | | | | |
| 指標 | 入札における加点対象企業数 | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | |
| 実績 | 26社 | 32社 | 33社 | | | | |
| 元年度 | 活動計画 | 令和元年度の実施の結果を検証する。 | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | 総合評価競争入札を41件実施し、参加業者数は28社であった。その内、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」及び「女性の活躍促進宣言」の何れかまたは両方で加点対象となった企業数は13社(46%)であった。 | | | | | B |
| | 課題等 | 登録企業数の増加を図るために、総合評価競争入札の評価項目の追加や評価方法の見直しを行う。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 令和2年度の実施の結果を検証する。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|------------------------------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 №.23 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 各種制度（育児休業・介護休業等）の周知 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 仕事と育児・介護の両立を支援するため、育児・介護休業制度、パートタイム労働法、ファミリー・フレンドリー企業、再就職支援などの情報収集に努め、広報やチラシなどでPRし、制度などの取得・利用を促す。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 各種制度を周知することにより、労働環境の向上に結びつけ、男女共に仕事と家庭生活の両立を図る。 | | | | | | |
| 指標 | 各種制度についての広報及び啓発回数 | | | 指標の出典 | - | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | |
| 実績 | 12回 | 8回 | 7回 | | | | - |
| 活動計画 | チラシの配布等を進め制度理解の促進を図る。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 活動実績 | チラシの配布を行い制度理解を促進した。 | | | | | |
| | 課題等 | 中小企業の各種制度構築に当たり、支障となる課題等の把握。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|---|-------|--------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 健康推進課 N.o.24 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、男性を対象とした講習会や学習機会の提供を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 夫婦が、妊娠期から出産後の妊産婦の心の変化や、育児について共に学び、お互いの役割と一緒に考えることができる。 | | | | | | |
| 指標 | 夫婦でのパパママ教室参加率 | | | 指標の出典 | 夫婦でのパパママ教室に参加した妊婦数 ／／パパママ教室に参加した妊婦総数 | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → 90%以上 |
| 実績 | | 92% | 94% | 94.3% | | | |
| 元年度 | 活動計画 | 父親の役割に関する内容を追加し、引き続きパパママ教室を実施する。 | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | パパママ教室に参加した妊婦297名のうち、べんきょう編196名＋たいけん編84名が夫婦での参加がありました。 べんきょう編、たいけん編については、新型コロナウィルス感染症対策のためそれぞれ1回づつ中止となりました。 | | | | | A |
| | 課題等 | 新型コロナウィルス感染症対策のため教室が中止。集団形式の学習の機会がなくなり、男性の家事・育児への参画に向けた学習機会の提供方法の再検討が必要。 | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 男性の家事・育児への参画に向けた学習機会の提供方法の再検討し、実施していく。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 子育て支援課 No24 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、男性を対象とした講習会や学習機会の提供を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 男性が、積極的に子育てや家事を楽しむようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 「パパ講座」、「育メン広場」参加人数 | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 550人 |
| 実績 | 531人 | 318人 | 265人 | | | | |
| 活動計画 | パパ講座 育メン広場 | 3回／年（元気体操、アンガーマネジメント、パワフル運動遊び） 1回／月（手あそび、工作、大型絵本等） | | | | | |
| 元年度 活動実績 | パパ講座 育メン広場 | 3回／年（パパと元気体操、パパのためのアンガーマネジメント、パパとパワフル運動遊び）127名参加 1回／月（手あそび、工作、大型絵本等）138名参加 ※3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止 | | | | | |
| 課題等 | パパ講座は子育ての専門家による講習会を3回開催している。1回は育児についての講座を計画に入れているが、参加率が悪いため、親子で体を動かせる遊び講習会を3回開催してく必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | パパ講座 | 3回／年（パパとパワフルに運動遊び、パパと元気体操、パパと一緒にわくわく体操） 1回／月（手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等） | | | | | |

※対象の0～2歳の子ども自体の減少や、ママも含めて家族で過ごせる場所であるアンフォーレの集客力も、パパ講座や育メン広場に参加する方が減っている要因の一つと推測する。

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 生涯学習課 N○.24 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 男性の家事、育児等への参画に向けた学習機会の提供を行う。 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 男性または女性が共に家庭生活を担うための講習を受けることで、男性の家事、育児等の参画への理解が促進する。 | | | | | | |
| 指標 | 男性の参画を促進するための講座実施数 | | 指標の出典 | | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 18講座 |
| 実績 | 18講座 | 25講座 | 29講座 | | | | |
| 元年度 | 活動計画 | 男女が家庭的責任をともに担うため、男性の家事、育児、介護への参画を促進する講座を実施する。 | | | | | 進捗状況 A |
| | 活動実績 | 土日に参加できる講座や夜間の講座等、働き盛りの男性も参加しやすい講座を多数開講した。また、土日に親子で参加できる講座を開催し、男性が育児に参画しやすいうようにした。 | | | | | |
| | 課題等 | 男性の学習機会の参加は増えているが、継続して学べる機会の提供が必要である。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 男女が家庭的責任をともに担うため、男性の家事、育児、介護への参画を促進する講座を継続して実施する。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 市民協働課 No.25 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方に関する啓発等を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 子育て世代の男性が、家事・育児等の両立に配慮した働き方を認識することで、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活をするようになる。 | | | | | | |
| 指標 | ワーク・ライフ・バランスについての啓発回数 | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <平成28年度> | | | | | | |
| 実績 | — 2回 2回 | | | | | | |
| 活動計画 | 広報紙やさんかく情報誌などでワーク・ライフ・バランス等の啓発を実施する | | | | | | |
| 元年度 | 活動実績 ・チャレンジ！男女が輝く職場づくり～安城市男女共同参画情報パンフレット～を商工会議所で開催された研修で配布 ・新規採用職員研修会用の資料にてワーク・ライフ・バランスを啓発 | | | | | | |
| | 課題等 パンフレットの情報が年々古くなっていくので、新しいパンフレットの作成が必要。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 研修や啓発物等でワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施する。 | | | | | |

B

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|---|----------------------------------|-------|-------|-------------------------|-------|----------|--|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 N.25 | |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | | |
| 取組 | 子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方に関する啓発等を行う。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 子育て世代の男性が、働き方を見直し、男女共に仕事と家庭生活の両立を図るようになる。 | | | | | | | |
| 指標 | 働き方に関する広報・啓発の実施回数 | | | 指標の出典 | 広報、商工会議所会報、各種窓口でのチラシの設置 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → | |
| 実績 | | 8回 | 5回 | | | | | |
| 元年度 | 活動計画 | チラシの配布等を進め制度理解の促進を図る。 | | | | | 進捗状況 | |
| | 活動実績 | チラシの配布を行い制度理解を促進した。 | | | | | C | |
| | 課題等 | 中小企業が各種制度構築に当たり、課題の有無を把握する必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | |
|------------------|---|-------|-------|-------|-------|---------------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 市民協働課 N o.26 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | |
| 取組 | 働き方の見直しのための啓発 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 事業者が制度を整備することで、働く人のワーク・ライフ・バランスがとれるようになる。 | | | | | |
| 指標 | 育給休暇・ノー残業デー制度等の啓発回数 | | | 指標の出典 | - | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <平成28年度> | | | | | |
| 実績 | 1回 | | | | | |
| 活動計画 | 商工会議所の会報などで有給休暇促進、ノー残業デー等の制度の啓発をする | | | | | |
| 活動実績 | ・チャレンジ！男女が輝く職場づくり～安城市男女共同参画情報パンフレット～を商工会議所で開催された研修で配布 | | | | | |
| 課題等 | パンフレットの情報が年々古くなっていくので、新しいパンフレットの作成が必要。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 商工会議所に、有給休暇促進、ノー残業デー等の制度の啓発をするパンフレットを配布する。 | | | | | |

B

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和元年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|---|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 No.26 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 働き方の見直しのための啓発 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 労働者が、働き方を見直すことにより、男女共に仕事と家庭生活の両立を図れるようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 県下一斉ノーギャラリーの啓発回数 | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → 1回 |
| 実績 | | 1回 | 2回 | | | | |
| 活動計画 | チラシの配布等を進め制度理解の促進を図る。 | | | | | | 進捗状況 |
| 元年度 | 活動実績 | 愛知労働局からの有給休暇取得を促すチラシを配布し、庁舎内にポスターを掲出し機運の醸成を図った。 | | | | | |
| | 課題等 | 継続して周知を進めることで、今後ますます各種制度の理解が深まるよう取り組みを進める。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 有給休暇取得を促す、ポスター・チラシによる啓発を行う。 | | | | | | |

A